



海外 稲門会の躍動

Overseas TOMONKAI

登録稲門会 検索

現在、約70の海外稲門会が世界各地で活動しています。海外に滞在する際は、現地の稲門会を検索して参加してみましょう。
※一部、活動休止中の稲門会もありますことを、ご了承ください。

会長メッセージ

この原稿を書いているのは、2020年6月14日。タイのバンコクも3月中旬からの非常事態宣言が継続中です。約300人のバンコク稲門会の会員もリモートワークや不要不急の外出自粛で不自由な生活を強いられていますが、幹事同士でリモート飲み会を開催し、来月以降の非常事態宣言解除後の活動について意見交換をしています。

バンコク稲門会では、月に一度の定例会を稲門会会員の経営する飲食店で開催したり、2か月に一度のゴルフを通じた懇親会、慶應義塾大学三田会と合同のクリスマスパーティーを行っ

たりしています。会員の職業もさまざまで、会社員はもとより、自営業、公務員、リタイヤ後にバンコクで過ごす方など、多種多様な老若男女の校友の集まりです。

昨年はアジアの各稲門会との交流を目的とした第1回ASEAN稲門会の会合を、ここバンコクで行いました。今後はバンコクにいらっしゃる校友を勧誘するとともに、アジアの校友との輪も積極的に広めていきたいと考えています。

籠田雅人(1996年商学)

会員からのメッセージ

2012年に卒業し、昨年からバンコクで働き始めました。稲門会の皆さまは年代もタイにいる理由もさまざまですが、気さくに接していただき、いつも楽しくお話をさせていただいています。まさかバンコクに来て、こんなに幅広く校友の方と知り合えるとは思っておらず、改めて早稲田大学の絆の強さを感じるとともに稲門会に感謝しています。

守 綾香(2012年国際教養)

バンコクに赴任した翌日からバンコク稲門会に参加しています。以前、ニューヨーク駐在中にはニューヨーク稲門会の幹事をしていました。バンコクではタイの政府機関で勤務しており、日系社会とのつながりが多くないため、ここでも稲門会のありがたさを実感しています。バンコク稲門会はさまざまな分野で活躍される皆さまと知り合い、飲み、語り合える大変貴重な場となっています。幹事の皆さまに感謝し



バンコク早稲田会の様子

ながら、今後も稲門会の活動を支えていきたいと思えます。

伊原 誠(1995年政経)

2002年に大学院卒業後、コンサルを経て、IT企業のスタートアップに創業メンバーとして参加し、18年にASEAN事業の立ち上げでタイに来ました。タイに来る前は早稲田のつながりを意識したことはなかったのですが、バンコク稲門会に参加したときに、上は70代、下は20代のメンバーがフラットに場を楽しんでいることが非常に居心地良かったです。ここでつながった関係は一生の宝だと思っています。

豆田裕亮(2000理工、02年工研修)

新卒で入社した製造業の営業職として、2017年よりバンコクに赴任しています。当初会社やタイ在住の友人以外にも交友関係をつくりたいと思い、赴任1か月目で稲門会の門をたたきました。赴任半年後に同じく早大卒の妻も来泰し、夫婦そろって楽しく稲門会に参加しています。また、バンコク三田会との合同クリスマスパーティーでは3年間幹事を務めており、早稲田の枠を超えた交流を楽しんでいます。

藪亀 哲(2010年政経)

タイ国内の日系企業数は6,000社を超え、在留日本人の数は一時滞在者を含めると10万人を超えるといわれています。その中で早稲田の校友はおそらく数百人単位になると思われます。



会員の働く日系居酒屋にて懇親会

バンコク稲門会について

バンコク稲門会の正確な設立年は不明ですが、50年以上の歴史があり、現在の登録会員数は約300人。月に一度の定例会には、20代から70代まで幅広い年齢層の校友約40人が集い、和やかな雰囲気の中で、交流を深めています。参加者は会社員、会社経営者、学生、主婦とさまざま。普段の生活では関わることのない方々と交われるのも稲門会の魅力の一つです。最近では定例会の前段で、タイのビジネスや情勢について豊富な知識を持つ会員による講習会なども行い、ますます有意義な時間を築いています。その他の活動はゴルフコンペ、バーベキュー、また他団体との交流としてゴルフ早慶戦、早慶合同クリスマスパーティー、ASEAN稲門会などを催しています。

近年、タイに留学中の現役学生や20代の若手参加者も増え、顔ぶれがフレッシュになってきています。旅行中、出張中の一時参加も大歓迎！ぜひ、お気軽にご連絡ください。

藪亀菜摘(2013年文学)

バンコクの魅力

都市開発が進み、今やバンコクは高層ビルや大規模なショッピングモールが軒を連ねる大都会となりました。しかし、街を歩けば昔ながらの屋台飯屋や立派な寺院が現れ、変わらないにぎわいを見せています。革新と伝統、日常と非日常のハイブリッドな雰囲気が漂う都市、それがバンコクの魅力です。市街周辺には多くのゴルフ場があり、またビーチリゾートへのアクセスも良く、気軽にいろいろレジャーを楽しめます。

そして、在住者にとって最もありがたいのは、なんといっても食！おいしくて良心的な価格のタイ料理はもちろんのこと、世界中の料理を高いレベルで楽しめます。特に日本食はタイ人の中でも大人気で、大衆居酒屋から高級料亭までさまざま。日本の友人からの「日本食、恋しいでしょ？」という質問にはいつも苦笑いで返しています。

藪亀菜摘(2013年文学)



(上)タイのお寺や仏像は金色や派手な色が多い
(下)バンコクの中心街。交通渋滞が悩みの種